

佐藤建設株式会社

日本初！土壌汚染を「現場で」土壌改良する 革新的サービスへの参入

土壌改良のプロフェッショナルの挑戦 跡地現場で土壌改良 コスト削減、地球環境に貢献

事業の背景・目的

平成12年より地盤改良、土質改良に携わり、土を改良しリサイクルする事業を手がけている。鶴岡市の下水道工事においても、以前は工事で発生した土は全部廃棄処分し、下水道管の上には砂丘砂や新たに山を削って埋めていた。砂丘砂は、地震の際に液状化現象を起こしたり、新たに山を削るのは環境破壊にもつながっている。鶴岡市の下水道工事においては、出た土を改良して再度利

用している。こうした実績から、土に関してのさまざまな相談をいただくようになった。最近では、ガソリンスタンドや化学薬品を使用していた工場を解体しても、跡地の土を全部改良しない限り買い手がつかない。そこで、汚染土壌を浄化、改良することで、土地の有効利用になると考え、事業計画し、試作開発と設備投資を行った。

事業内容

これまでは、汚染された土は、産業廃棄物として処分するしかなかった。汚染土壌現場から掘削した土壌を運搬して処理場に持ち込むコスト、さらに、山砂等の新たな盛土を遠隔地から運搬するコストと二重のコストが生じていた。

当社ではこの事業で、自走式土壌改良機を設備、油や化学薬品で汚染された土壌を改良できるように、液体中和剤を噴霧する工程を加え、改良を行い、汚染土壌改良の土壌改良コストを大幅に削減する。



自走式土壌改良機。



液体中和剤を入れる。

DATA

佐藤建設株式会社

- ・土木工事一式設計施工
- ・建築工事一式設計施工
- ・土壌再生・土地改良・地盤改良に関する事業
- ・産業廃棄物の収集運搬、処理事業
- ・前記書各号に附帯する一切の業務



代表取締役
佐藤 誠

住 所
鶴岡市矢馳甲33

電 話
0235-24-6878

FAX
0235-24-6801

e-mail
ホームページのお問い合わせより

設立年
昭和48年6月

資本金
2,500万円

従業員
20名

事業の成果

現段階では、汚染土壌に対し有効な中和液体の種類、効果等の検査を行っている最中である。

ガソリンスタンド跡地の油分の含んだ土に対しては、ある程度改良できる実績があがっている。

しかし、工場跡地に関しては、業種より、ある程度の使用されていた化学薬品の特定は可能であるが、まだ決定的な実績には至っていない。今後の課題である。



汚染土に液体中和剤を噴霧することで改良土として再利用可能になる。

今後の展望

汚染土壌が廃棄されることと、新たに山が削られることによる環境破壊に対して対策になることで地球環境に貢献していく。

土に関してのプロフェッショナルとして、限りある土地の有効活用のた

めに寄与していく。

具体的には、ガソリンスタンド跡地や化学工場跡地等の土壌改良コストを大幅に引き下げる革新的サービスへ参入すると同時に残土処理問題にも対応していく。